



「動かす介助」から「動きを引き出す介助」へ 高齢者の **実技動画で学ぶ** 廃用と重度化を予防する 「**予防介助**」の**実践法**



※講義時間:65分

**人の動きのつながりを理解すれば、
何が楽で何が辛いかがわかる**

谷口 奨氏 日本シンプルラーニング協会
予防介助認定協会 代表/作業療法士

2005年に作業療法士免許取得。2010年より「楽な動き」をテーマに全国各地でセミナーを開催し、これまで述べ6,000人以上の医療・介護の専門職を中心に教育してきた。その内容の一部をYouTube「楽な動きの学習会」で伝えている。今までにない情報が多くの人の共感を得て人気チャンネルに。現在は「日本シンプルラーニング協会」や「予防介助認定協会」代表として、動きに困っている人が楽に動ける社会をつくるために活動している。

録画配信

[視聴期間]

オンライン

約2週間

申込2~3日後から
視聴できます。

受講料
(税・送料込)

一般 **13,000円** 会員 **10,000円**

※講義時間65分の録画配信セミナーです。
※PC/タブレット/スマートフォンなどインターネット環境が必要です。

プログラム

1. 常識? 非常識? 誤解だらけの介助技術

- ①してませんか?自分で動く機会を奪う介助
- ②滑らせる介助で拘縮は少しずつ促される
- ③詰め込んではいけない!クッションの本当の使い方
- ④電動ギャジアップベッドに隠された危険性
- ⑤杖は体重をかけるものと思ってませんか?

2. 実技動画で学ぶ

高齢者を元気にする!予防介助のコツ

- ①鍛えるのではなく省エネで動く
- ②重力を味方にして楽に介助する
- ③ゴソゴソ動くことがなぜ重要なのか?
- ④骨を揉んで骨を実感してもらうことの効果
- ⑤ポジショニングにおける「肩代わり」の考え方

3. 【まとめ】介助の達人になる方法

- ①「ドヤ介助」からの卒業
- ②「安全な失敗をしてもらう」のが上手な介助
- ③テクニック(技術)よりも大切なこと

プログラムや講師プロフィールなどセミナーの詳細はこちらから▶

日総研 17632

検索

関連雑誌

現場実務のスキルアップ!

認知症看護と看取りの実践・教育に!

臨床 老年看護

B5判 96頁
入会金 3,000円
年間購読料
18,900円(共に税込)

Web教材+実務専門誌(定期刊行物・会員制)

今後の
特集

- 一般・療養病床における高齢・認知症患者のケア[5-6月号]
- がんの知識と高齢がん患者の看護[5-6月号]
- グリーフについて考える[5-6月号]
- 高齢者のうつ病・うつ状態の理解と看護[7-8月号]
- 睡眠と睡眠障害について考える[7-8月号]
- 老年看護学教育の工夫と実際[7-8月号]

優れた接遇サービスを実践する病院・介護事業所を表彰



日総研 **接遇大賞**

応募は9月30日まで。発表は11月。

これまで受賞された全48施設の特色を
Webで公開中

接遇大賞

検索

国家資格の受験資格を取得することができる養成所

厚生労働大臣指定 一般財団法人 日本総合研究所

社会福祉士養成所 通信課程

精神保健福祉士養成所 通信課程

お問合せ

TEL: 0120-054977

URL: www.nissoken.com

日総研

検索